



テーマ：中央2030

10年後どのような地区になってほしいですか  
そのために必要なことは？

■将来も住みたいと思う住み心地の良さが中央地区にはある。

■今ある魅力を大切に、未来を考えていく。

自然環境の素晴らしさや、地域で孤立しないように声をかけてくれる住民の温かさなど、人を喜ばせる魅力は身近にすでにあるので、10年後に向けて願う姿も今の魅力を大切にすること。

また、単に大きな声でPRするのではなく、地域の良さ、暮らしている人が感じている良さをきちんと伝えるPRを工夫していく。

■どうすれば理想の姿を実現できるか 議論を続けていく

理想の実現のために住民が議論を続けることが大切。住民、行政、そして社会福祉法人共生会で仕組みづくりをしっかりと考えていけば道筋が出るのでは。

■シェアリング(共有・交換)のまちづくり

「移動・交通」など地域の課題を解決するために、シェアリングの仕組みづくりがキーワードになるのでは。上手に活用したい。

■人が訪れる魅力ある地域にしたい

丸山PG場や伝承館などの地域資源を生かして、「食」や「農」、「景観」をテーマにしたツアーやイベントを開催する。地域住民と共生会で主体となって実行委員会で取り組み、行政は側面支援を。

### ■田園風景、黄金色の農地(稲作)を守りたい

稲作農業を継続できる仕組みづくりと、景観を維持していく取り組みをする。ベテラン農業者は、若手の手伝いや指導をしたい気持ちがある。

### ■農業者と非農業者がうまく共存できる地域

移住者の方が地域にきちんと関わってくれば、迎える温かさが中央地区にはあるので、つながりを持った移住を進め、人口を減らさないようにしたい。

### ■施設野菜の農業も普及して、農業が元気な地域に

施設野菜（きゅうり）は所得を確保できるので、大変だが取り組みが広がり、地域の農業が元気になってほしい。